



伊倉っ子
だより

【学校教育目標】

豊かな心と確かな学力を身に付け、
心身ともにたくましく生きる
児童の育成

伊倉小学校だより

第5号

令和8年6月15日

文責：校長 須藤 隆

“心のきずなを深める月間～いじめを許さない学校・学級づくりを目指して～”

体に良い食べ物を食べた人は、
体が良く育ちます。心も同じで、
優しい言葉をかけられた人は、
優しい心が育ちます。

この言葉は、昨年度まで本校に勤務されていた養護教諭の先生が、3月の退任式で子供たちに贈られた言葉です。最後のお話ということもあり、子供たちは真剣な表情で耳を傾けていました。

私自身もこの言葉がとても心に残りました。そして、子供たちにもいつまでも大切にしていきたいと思います。5月28日（木）の全校集会で改めて紹介しました。

私たちは、体の成長には目を向けがちですが、心もまた、日々の言葉や関わりの中で育っていきます。友達からの優しい一言に励まされたり、誰かを思いやる行動に触れたりすることで、子供たちの心は少しずつ豊かになっていきます。

熊本県では、6月を「心のきずなを深める月間」とし、県内すべての学校で「いじめを許さない学校・学級づくり」に取り組んでいます。

本校でも、右記の取組を通して、一人一人が大切にされ、安心して過ごせる学校・学級づくりを進めてまいります。ご家庭におかれましても、お子様との会話の中で「優しい言葉」や「思いやりのある行動」について話題にしていいただければと思います。

【伊倉小心のきずなを深める月間取組】

- ・各学年での人権についての学習
- ・家族で作ろう人権標語
- ・人権ポスター（6年生）
- ・全校集会での校長講話

掃除の時間に育つもの～縦割り班掃除～

伊倉小学校では、5月26日から7月2日までの期間、縦割り班による掃除活動を行っています。縦割り班掃除は、異学年の交流を深めるとともに、思いやりの心や協力する力、責任感を育むことを目的としています。

全部で10班あり、各班1年生から6年生までの児童12～13名で構成され、それぞれの担当場所を掃除しています。上級生が下級生に掃除の仕方を優しく教えたり、下級生がその姿を見て学んだりするなど、学年を越えた温かな関わりが見られています。

学校をきれいにすることはもちろん大切ですが、縦割り班掃除のよさは、それ以上に「人と人とのつながり」を育てることにあると思います。上級生は下級生を思いやり、下級生は上級生に感謝の気持ちを抱きます。こうした関わりの積み重ねが、安心して過ごせる学校づくりにつながります。

これからも子供たちが互いを大切に、助け合いながら成長していけるよう、温かく見守っていききたいと思います。

校長室や廊下を掃除する様子

